クロストリジウム・サーモセルルム由来のラムノガラクツロン酸リラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1564

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ラマノガラクチュロナーゼはエンドタイプの1,4-α-ラマノガラクチュロナーゼです。この酵素は次の化学反□を触媒します：ペクチンの分岐した毛状領域におけるラマノガラクチュロナンIドメインのL-α-ラマノピラノシル-(1->4)-α-D-ガラクトピラノシルウロン酸結合のエンドタイプの除去的切断を行い、還元末端にL-ラマノピラノースを、非還元末端に4-デオキシ-4,5-不飽和D-ガラクトピラノシルウロン酸を残します。
別名	エンド-1,4-α-ラマンガラクツロン酸リラーゼ; EC 4.2.2.-

製品情報

種	クロストリジウム・テルモセラム
由来	E. coli
形態	35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl2、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 4.2.2.-
分子量	76.1 kDa
純度	>SDS-PAGEによって判断された90%
濃度	0.5 mg/mL
最適pH	8.0-10.0
最適温度	65 °C
特異性	ラムノガラクツロン酸

保管・発送情報

保存方法	この酵素は常温で発送されますが、-20 °Cで保管する必要があります。